

2023年度前期 「授業評価アンケート」 報告書

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	合田 誠	社会福祉	卒業必修科目でもあり、かつ福祉(保育)の原理科目であるため。加えて対象の受講生が1年生全員となり、授業理解の状況を把握したかったためです。	授業はパワーポイントを活用していたため、中間アンケートの要望として出た内容の改善に努めた。 改善されたかどうかの結果として、9割以上（92.1%）の学生がそう思うもしくはややそう思うを選択した。 具体的取り組みとして、パワーポイントで説明・解説した項目で重要度を示すために色分けしていたのが、逆にどの項目が重要なかが判別できなかったとの要望に対しては、色分けをシンプルにし、最も重要な項目のみ色づけして表示するようにした。 次ページをめくるスピードが少し速いとの要望があり、その対処として、今まで以上にページをめくる際の声かけを意識し、学生のノート筆記に関しては配慮した。 パワーポイント以外の要望として、関連動画（DVD）を鑑賞してもらう予定が時間不足となり、見てもらうことができないことがあったことに対して、授業進行を考慮しながら動画鑑賞の時間の確保に努めた。	約8割（76.3%）が到達目標にほとんど達成できたもしくはかなり達成できたと回答していることから、授業で伝えたかった主旨は理解してもらえたと考えている。 ただし、これに満足するのではなく、今後も授業範囲が広大な「社会福祉」に関して、受講生にわかりやすく、かつ広範囲の授業内容を厚労省の示すシラバス内容に焦点化しながら授業をすすめていきたい。
		社会福祉	卒業必修科目でもあり、かつ福祉(保育)の原理科目であるため。加えて対象の受講生が1年生全員となり、授業理解の状況を把握したかったためです。	授業はパワーポイントを活用していたため、中間アンケートの要望として出た内容の改善に努めた。 改善されたかどうかの結果として、9割近く（88.9%）の学生がそう思うもしくはややそう思うを選択した。 具体的取り組みとして、パワーポイントで説明・解説した項目で重要度を示すために色分けしていたのが、逆にどの項目が重要なかが判別できなかったとの要望に対しては、色分けをシンプルにし、最も重要な項目のみ色づけして表示するようにした。 次ページをめくるスピードが少し速いとの要望があり、その対処として、今まで以上にページをめくる際の声かけを意識し、学生のノート筆記に関しては配慮した。 パワーポイント以外の要望として、関連動画（DVD）を鑑賞してもらう予定が時間不足となり、見てもらうことができないことがあったことに対して、授業進行を考慮しながら動画鑑賞の時間の確保に努めた。 また、筆記する量が多いとの要望に対しては、必要最低限度の項目に絞って授業をすすめているので、そこは了解してほしいと説明した。	約4割（44.4%）が到達目標にほとんど達成できたもしくはかなり達成できたと回答となり、授業で伝えたかったことが浸透しきれていない結果を受け止めることができた。しかしながら、少し達成できたを加えれば、9割以上（92.6%）となるため、最低限度の理解は得られたのではないかと考えている。 今後も授業範囲が広大となる「社会福祉」について、受講生にわかりやすく、かつ広範囲の授業内容を厚労省の示すシラバス内容に焦点化しながら授業をすすめていきたい。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	鍛治谷 静	発達心理学 (1・2・3組)	クラス間比較をするため。	スライドの進むペースが速い、文字が小さいとの声の一部あったため、学生の様子を見ながら改善に努めた。	おおむね達成できており、学生の自己評価とも大きなギャップはなかった。しかし、授業の後半に扱った学習理論に対する理解度が低かった。理解と定着を図るため、内容によっては授業内での小テストの活用等を検討している。
		発達心理学 (4・5・6組)	クラス間比較をするため。	要望により、授業の中ほどで眠気ざましに座ったままできるストレッチを導入してみたが、授業の展開等の改善も図るべきだったように思う。	おおむね達成できており、学生の自己評価とも大きなギャップはなかった。しかし、授業の後半に扱った学習理論に対する理解度が低かった。理解と定着を図るため、内容によっては授業内での小テストの活用等を検討している。クラス間比較をすると教員の印象の違いが学生の自己評価の差としても表れており、同科目であっても個々の学生の興味関心や学習進度に応じた授業の構成、資料の提示の仕方を工夫する必要性を感じている。
保	香月 欣浩	幼児と図工Ⅰ（4.5.6組）	1年生の授業改善（授業内容・方法）を今年度も継続して行っているため、その効果を知りたかったため。	制作時間、片付け時間、振り返りシートの時間確保についての希望であったので、段取りをさらに考え、改善を行った。	改善に努めたことと、無理な希望については、授業で説明した。そのためか、達成についての回答で多くの学生が満足の回答をしている。 学生も私も楽しく学びながら、力をつけたと感じている。後期はさらに理論と実践を結び付けていく授業実践を課題とする。
		幼児と図工Ⅰ（1.2.3組）	1年生の授業改善（授業内容・方法）を今年度も継続して行っているため、その効果を知りたかったため。 またクラス間比較をしたかったため。	制作時間、片付け時間、振り返りシートの時間確保についての希望であったので、段取りをさらに考え、改善を行った。 またグルーピングの工夫を行った。	改善に努めたことと、無理な希望については、授業で説明したこともあり、「ほとんど達成できた。かなり達成できた」と答えた学生が80パーセントを超えていた。 学生は授業中、表現しても認めてもらえる安心感の中でストレスなく、楽しく学びながら、力をつけたと感じている。後期はさらに理論と実践を結び付けていく授業実践を課題とする。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	阪野 学	子ども家庭支援論	2クラスの内アンケートの回答者が少なく、より貴重な意見が反映されていると考えたため。	毎回の授業で学外学修時間の確保のためシャトルシートを課している。そのシートに授業に関する要望・質問を学生が書き込めるようにしており、何か要望があれば必ず次の授業の際にリアクションし改善に努めどうしても対応の難しい場合はその理由を説明して理解を求めている。具体的には、授業の進行の速度、パワーポイントの見やすさ、説明の分かりやすさ、授業開始時の要点の説明、授業の最後のまとめ等である。 この様に毎回の授業で学生からの要望に耳を傾け授業の改善・工夫を行っているため、中間アンケートと云う事で取り立てた要望は無く平素の授業で受け付けている要望で対応できていると史料している。	本クラスの評価の平均は100点満点で73点であった。アンケート結果からも「ほとんど・かなり達成できた」37%、「少し達成できた」58%、「あまり達成できなかった」5%、「ほとんど達成できなかった」0%と評価に則った内容であった云うことができる。 次年度に向けての課題としては、学外学修時間の確保のためのシャトルシートの充実、特に考察文の添削指導やレポートの作成指導による学生全体の課題である文章力の向上に繋がるように努めたい。
		社会的養護Ⅱ	3クラスの内アンケートの回答者が少なく、より貴重な意見が反映されていると考えたため。	毎回の授業で学外学修時間の確保のためシャトルシートを課している。そのシートに授業に関する要望・質問を学生が書き込めるようにしており、何か要望があれば必ず次の授業の際にリアクションし改善に努めどうしても対応の難しい場合はその理由を説明して理解を求めている。具体的には、シャトルシートの授業前の配布、授業の進行の速度、パワーポイントの見やすさ、説明の分かりやすさ、授業開始時の要点の説明、授業の最後のまとめ等である。 この様に毎回の授業で学生からの要望に耳を傾け授業の改善・工夫を行っているため、中間アンケートと云う事で取り立てた要望は無く平素の授業で受け付けている要望で対応できていると史料している。	本クラスの成績は、100点満点平均70点であった。アンケート結果からも「ほとんど・かなり達成できた」39%、「少し達成できた」54%、「あまり達成できなかった」0%、「ほとんど達成できなかった」8%と評価に則った内容であった云うことができる。 次年度に向けての課題としては、学外学修時間の確保のためのシャトルシートの充実、特に考察文の添削指導やレポートの作成指導による学生全体の課題である文章力の向上に繋がるように努めたい。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	金川 朋子	スポーツⅠ	2コマ担当する1コマ目の授業を選んだ	講義形式の授業では、ノートのとりにやすいように、提示資料、配付資料を記入しやすいように工夫した。 アンケートの結果においても、否定的な意見はなく、工夫していることが有効だったと考える。 実技内容では、学生がより楽しんで運動に取り組めること、実践的であること、体操については、2～3回の繰り返し、 お手玉の練習は、10分程度継続しながら取り組んだ。 結果、多くの学生がソムリエ（お手玉）初級を合格できている。	シラバスの到達目標に対しては、2名を除き、達成感をもって授業に取り組めているととらえている。 お手玉の課題についても、練習時間を継続的に確保すること、個人個人にアドバイス、学生同士の学びあい教えあいができるようにしたことで、昨年度以上に技術習得ができた学生が多くなった。 後期においても、技術習得で得る達成感を感じる授業に取り組みたい。また、運動することを通して、保育者としての実践力の工場と同時に、学生通しのコミュニケーションを促進できるように、心身リフレッシュの機会としても機能できるような授業にしたいと考える。
		特別支援教育総論1	2コマ担当する1コマ目の授業を選んだ	グループワークを嫌う学生もいるが、グループワークで得られる学びの大切さを再度説明をした。 グループワークでは、話し合いだけでなく、調べ学習を取り入れ、共同作業、共同発表に取り組んだ。 講義の授業では、ノートのとりにやすいように、提示資料、配付資料を記入しやすいように工夫した。	シラバスの到達目標達成状況については、2名を除き、達成感をもって授業に取り組めている。 各授業の振り返り小テスト、定期的な小テストを実施することで、定期テストの回答率も、昨年度よりも向上している。 学びの達成感を持たせることで、主体的な学習の姿勢の育成につながることを期待したい。 さらに、グループワークを苦手な学生もいるが、積極的に学習に取り組める学生も多く、学生同士の学びあいが生まれるように、 さらに、理論の理解を深化させるように授業を展開していきたいと考える。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	木村 美佳	子どもの健康と安全 1. 2組	このクラスは、私語が多く、授業の進みも遅く、進行させるのがとても難しかったため選択しました。	2年生の授業が3クラス続く最後の授業でもあり、5限という集中するのが難しい時間的要因の可能性もあるなか、教材や授業スライドの質を、ほかのクラスと同じにしています。 中間アンケートでは、演習の質などに対してのマイナスの意見はありませんでした。 学生の集中の度合いや時間的な要因を考えると、スライドの見やすさや質問の難易度を考えて、学生がより考えやすいようにしていく工夫が必要だと感じました。学生の意見や態度によって、展開する時間や授業の方法をより簡潔にして、具体的な改善策を導入しました。 リフレクションの記入や学生同士の話し合いなどを多くした結果、理解度は増していった可能性もあります。	あまり理解が進まなかったという回答もありました。 演習の授業にもかかわらず、理解することが困難であるとう回答だったため、授業の導入部分をさらに明確にし、演習時間をよりとれるようにし、本人が主体的に取り組めるようにしたと思います。 シラバスの到達目標は達成できたかと思います。 またクラス全員に記入してもらうようにしたにもかかわらず、回答数が少なかったことも、次回のアンケート調査には全員が参加してもらえるようにひとりずつが回答できたかどうかの確認をする作業を加えたいと思います。
保	千田 耕太郎	幼児と音楽Ⅰ	1年生の音楽系の授業の中で唯一、全員必修の授業であるため。	ピアノ個別指導や集団指導など、複数教員で当たっているので、授業前の打合せ時に、中間アンケートの結果を共有し、改善の必要がある点については議題にあげ話をした。 ピアノ曲、弾き歌い曲の合格基準について、不満を持っている学生がいるようなので、出来るだけ統一できるような教員間で話し合いをした。	学生の成績の指針として、ピアノ前期必修課題の到達度に着目すると、必修課題を全て終えている学生は9割を超えている。ただ、問4の結果を見ると「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」の合計は58%であり、シラバスに示されている音楽の力、音楽を指導するための力が充分身についていると感じていない学生も少なからずいる。総合的な音楽の力、音楽を指導するための力をつける取り組みについて考えていく必要を感じている。
		幼児と音楽Ⅰ	1年生の音楽系の授業の中で唯一、全員必修の授業であるため。	ピアノ個別指導や集団指導など、複数教員で当たっているので、授業前の打合せ時に、中間アンケートの結果を共有し、改善の必要がある点については議題にあげ話をした。 ピアノ曲、弾き歌い曲の合格基準について、不満を持っている学生がいるようなので、出来るだけ統一できるような教員間で話し合いをした。	学生の成績の指針として、ピアノ前期必修課題の到達度に着目すると、必修課題を全て終えている学生は9割を超えている。ただ、問4の結果を見ると「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」の合計は58%であり、シラバスに示されている音楽の力、音楽を指導するための力が充分身についていると感じていない学生も少なからずいる。総合的な音楽の力、音楽を指導するための力をつける取り組みについて考えていく必要を感じている。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	森 麻希子	幼児と音楽Ⅲ (1・2・3組)	授業科目の特性上、個人レッスンや集団授業など内容が多岐に渡り、多くの教員が関わるため	アンケート結果を担当教員全員と共有し、改善点については共通の意識が持てるように申し合わせを行った。 良い点として、マンツーマンのピアノレッスンが最も多く、他にも、歌、リズム奏、合奏など音楽表現について幅広く学べるという点があがった。 学生の豊かな感性を尊重しつつ、技術の向上が見込めるように丁寧な関わりを継続した。 改善点については、特になしが最も多かった。しかし、毎回個人レッスンの順番をローテーションしているのがややこしい等、学生からの意見もあったため、時間の公平性を保つために行っていることなど、学生に対して改めて説明し理解を求めた。	アンケート結果による学生の自己評価と、成績は概ね一致した結果となった。予習・復習も多くの学生がある程度行っており成果に結びついたように思う。 授業の中で、実習・就職（試験対策含む）に結びつくように丁寧に指導するように心がけたが、今後も学生のモチベーションアップに繋がるように、内容を適宜見直しつつ適切な指導を行っていきたい。
		幼児と音楽Ⅲ (4・5・6組)	授業科目の特性上、個人レッスンや集団授業など内容が多岐に渡り、多くの教員が関わるため	アンケート結果を担当教員全員と共有し、改善点については共通の意識が持てるように申し合わせを行った。 良い点として、マンツーマンのピアノレッスンが最も多く、少人数で受けられること、質問しやすい雰囲気があるという点があがった。 個人レッスンの時間を大事に思っている学生が多いため丁寧な関わりを継続した。 改善点については、特になしが最も多かったが、童謡のレパートリーを増やしたいという声も多くあがり、改めて内容の見直しを行った。	アンケート結果による学生の自己評価と、成績は概ね一致した結果となった。予習・復習については個人差が大きく成績にも反映されているように見受けられた。実技科目の特性上、取り組んだ時間が成績に直に反映する傾向にあるため、どのようにしたら学生がモチベーションを継続できるのか改めて検討する必要性を感じた。授業の取組みの一つとして実習・就職（試験対策含む）に結びつくように丁寧に指導するように心がけたが、今後も内容を適宜見直しつつ適切な指導を行っていきたい。
保	阪江 豪	幼児と人間関係	入学して初年の授業であるため、学生の授業への適応や理解度を図り、全体や個人への今後の授業への様々な対応ができるようにするため。	授業資料や内容の組み立て	学生の理解度は概ね良好であったと感じる。今後の課題としては、クラスや個人によってグループディスカッションに対する参加態度などが異なり、それが学習や理解度等の差につながる恐れもあるため、それぞれに応じて教員がフォローをする必要があると感じた。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	松下 明日香	幼児と健康	「幼児と健康」は5領域のうちの1つであり、保育者としての力量を高めるにあたり重要な授業だと考えるため。	課題が多いという意見に対し、他の講義課題とのバランスや学生の負担感、モチベーションの維持等を考慮して、課題の量を調整するとともに、できるだけまず講義内で課題に取り組む時間を設け、質問等を受けた後、残った分を宿題にする等の配慮を試みた。 来年度は負担の大きい課題は取り組み期間を延ばすようにしたい。	半数以上の学生が到達目標を「かなり達成できた」「ほとんど達成できた」と回答していた。 保育を初めて学ぶ1年生ということもあり、講義の前半に繰り返し、保育とは何をするのか、そのためにこの講義ではどの部分を学習するのかを示してきたことで、到達目標のイメージと保育に必要なことを学んだという実感が得られたのではないかと考える。 成績からは、実際の保育に活用できるところまで知識が定着していない学生も一定数見受けられる。 今後は学生の負担感が少ない形で、講義の振り返り、まとめ課題等の取り組み方法を工夫したい。
保	長谷 秀揮	保育内容演習 （言葉・人間関係）	中間及び最終授業アンケートによって、担当の授業科目について受講学生からの評価や意見をできるだけ多くもらう機会として、また多様な評価や意見等を学生の側から示してもらって参考として、活用することによりこの授業科目のさらなる改善や工夫を図り、いっそう学生の側に立った授業にして、受講満足度の向上をすすめたいと考えました。	学生からの意見として、具体的で分かり易く、特にレジュメ及びパワーポイントを活用した毎回の授業形式と、写真や録画またDVDなどの視聴覚教材を積極的に利用した授業スタイルが、その分かり易さにつながっている、といった意見が多数あり、意を強くしました。 学生からの意見等を、日常のかつ継続的に参考にしながら、毎回のレジュメやパワーポイント及び視聴覚教材のさらなる充実に取り組み、授業の改善、工夫を図るようにしました。	アンケート結果及び学生の成績から見て、シラバスの到達目標の達成状況については、少数の学生を除き、おおそ達成できていると考えられます。 しかし十分に達成できていないと考えられる学生がいることも、少数とはいえ明らかなので、より多くの学生が、シラバスの到達目標を十分に達成できるように、さらなる配慮と工夫が必要であるといえます。 学生の理解と習熟をより促すことが出来るように、授業の工夫、改善をいっそう図っていくようにしたいと思います。

		科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	多田 知正	子ども文化Ⅲ (WEBデザイン)	唯一の担当科目だったため。	Web以外の内容についても取り上げて欲しいという要望があったため、追加でそのような内容を含めた。	Webサイトの作成の基本的な方法は身についたと言えるが、ツールの使いこなしについては個人差が大きい。特にコンピュータに苦手意識のある学生に対しての動機づけが今後の課題であると考えている。
保	竹歳 賢一	情報基礎	担当2クラスのうち、アンケートへの真摯な回答が期待できるからです。	説明が早いなど授業進度に関する課題があったので、できるだけ説明やポイントを掲示して見やすいように工夫した。	シラバス到達目標は概ね達成できた。 学生の反応を見ながら全員が授業内容が理解できるよう工夫をしたい。
保	岡山 貴範	保育内容演習 環境健康	大きな理由はありませんが、他のクラスに比べてアンケートに対して誠実に回答してもらえるとおもったからです。	中間アンケートでは、パワーポイントの進み方が少し早く、書きにくいという意見があったので、スライドを進める時に全員が書いたかを確認してから次に進むように行った。	アンケートの結果と成績の結果から、シラバスの到達目標には概ね達したと思いますが、成績のバラツキがあるところもあったので、課題としては全ての学生にこちらが望む到達目標に近づけるように講義や課題の工夫が必要だと思いました。
保	川松 智子	子ども文化Ⅱ（腹話術）	このクラスのみ担当	おおむね 今の授業の進め方で良いと判断しました。 人形制作中に孤独感があった生徒さんが居られたのでその後 声掛けを気を付けるようにしました。	ほぼ達成できたと思います。 裁縫経験のない生徒さんがほとんどでしたがオリジナルデザインを考えて自分で台本を書いて最終的には保育園での実演を叶えました。 きっと大きな自信につながったと思います。

		科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	多田 知正	子ども文化Ⅲ (WEBデザイン)	唯一の担当科目だったため。	Web以外の内容についても取り上げて欲しいという要望があったため、追加でそのような内容を含めた。	Webサイトの作成の基本的な方法は身についたと言えるが、ツールの使いこなしについては個人差が大きい。特にコンピュータに苦手意識のある学生に対しての動機づけが今後の課題であると考えている。
保	竹歳 賢一	情報基礎	担当2クラスのうち、アンケートへの真摯な回答が期待できるからです。	説明が早いなど授業進度に関する課題があったので、できるだけ説明やポイントを掲示して見やすいように工夫した。	シラバス到達目標は概ね達成できた。学生の反応を見ながら全員が授業内容が理解できるよう工夫をしたい。
保	竹永 知弘	日本語表現 (スタディスキル含む)	回答率が高かったため。	学生にいっそう積極的に授業に参加してもらえよう、授業を改善・工夫した。	おおむね達成できた。今後は、より学生の予習・復習をうながすよう工夫したい。
保	岡山 貴範	保育内容演習 環境健康	大きな理由はありませんが、他のクラスに比べてアンケートに対して誠実に回答してもらえたとおもったからです。	中間アンケートでは、パワーポイントの進み方が少し早く、書きにくいという意見があったので、スライドを進める時に全員が書いたかを確認してから次に進むように行った。	アンケートの結果と成績の結果から、シラバスの到達目標には概ね達したと思いますが、成績のバラツキがあるところもあったので、課題としては全ての学生にこちらが望む到達目標に近づけるように講義や課題の工夫が必要だと思いました。
保	堀口 節子	カウンセリング概論	アンケートの回答率が7割近くあり、授業評価が適切であると思ったから。	パワーポイントの文字を大きくして見やすくした。文字だけでなく図や表を多く取り入れ、分かりやすい授業を心がけた。また、自分を表現できる課題を毎回出して、自分の事を考える時間を作った。授業評価アンケートの「中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組み」の結果は8割の学生が、そう思う・ややそう思う、と回答しており、改善や工夫が評価されたと考えた。	授業評価アンケートの「シラバスの達成目標」の結果は、ほとんど達成できた・かなり達成できたと9割の学生が回答しており、全体的に高い評価をされたと考える。しかし、学生の成績には高低のバラツキがあり、今後は基礎的な内容に加え応用問題にも対応できるような授業を工夫していきたいと考える。
保	川松 智子	子ども文化Ⅱ（腹話術）	このクラスのみ担当	おおむね 今の授業の進め方で良いと判断しました。人形制作中に孤独感があった生徒さんが居られたのでその後 声掛けを気を付けるようにしました。	ほぼ達成できたと思います。裁縫経験のない生徒さんがほとんどでしたがオリジナルデザインを考えて自分で台本を書いて最終的には保育園での実演を叶えました。きっと大きな自信につながったと思います。

		科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	谷 玲子	保育内容演習（総合表現）	一番やる気の無いクラスだったから	総合表現を受講する意味、必修科目である事は重々わかっているかと思いますが、学生から「みんなやる気が無い」と聞いていましたので、この授業の意義については、しっかり説明させていただいたつもりです。保育の道へ進む学生さんには、就職圏を決めるとき総合表現をしてこられた大学の学生さんである事は大きな武器になる事、四條畷学園という名前は保育界では注目されている事、実際に子ども達に指導する機会がある事、ミュージカルだけで無く日常保育にも役立っていく事など説明しています。	「みんなやる気が無い」学生さん方でしたが、保育祭に向けて練習し、発表することで、かなり気持ちも変わってきたのでは無いかと思います。早い時期から、それがわかって頑張ろうとしている学生も居られますので、その学生さん方を引き上げるような指導を心がけました。保育祭を終え、貴重な体験をされたことと思いますので、達成感は充分に感じられているかと思います。
保	渡邊 みのぶ	日本国憲法と人権（木曜3限）	本年が、担当開始初年度であったため。	中間アンケートのほかに、毎回、自由提出で、「今日の授業で、もっと聞きたいと思った画像番号。今日の授業で全然分らないと思った画像番号。その他、伝えたいと思うこと。」という項目の「アンケート」を「記名式」で集計しました。したがって、第2回めから、講義開始後15分程度で丁寧な「前回講義の 補充」を行い、フィードバックに努めた。「中間アンケート」確認後は、特に授業の内容を減らし、授業スピードを落とし、「分らない」と申し出る受講生を減らすように心がけた。結果として、第8回目以降から「授業が分かるようになって、楽しくなってきた。」という感想が始め、2回ほど「小レポート」を課したが、記入率も非常に良かった。	授業アンケートでは、少数の「低評価」の学生が見受けられるが、今回の「語群選択式」テストも、全問不正解のような学生はおらず、ひとまずの「理解定着」は、はかられたのではないかと推測している。今年の受講生は「職業意識」が強かったが、なにせ「テキスト」のような「基礎知識」については、即「保育場面」でなぜ必要になるかと「直結」させるには難しく、今後の「課題」と思われる。
保	馬場 住子	保育・教育課程論	授業への参加(出席など)率が高く、授業評価アンケートへの協力(回答率)がよりよく得られると思ったから。	授業のパワーポイントを印刷したものを配ってほしい、パワーポイントにページ数を入れてほしいという要望に応えた。休憩時間は取らないでよい、途中の手遊び(保育実践に使える遊びの紹介)などの演習はいらない、電気を落としてほしいなどといった意見(自由記述)があったため、意見に従った。	本来は予習復習の時間を増やしてほしいと思うが、他の授業や色々と忙しいとの声が聞かれたこともあり、学生の負担になるような課題はできるだけ出さないように心掛けた。そのため、学習時間は少ない結果が見られたことは課題として受け止めている。また、目標達成の意識についてはどのくらいを目指すか。その難易度は難しいと感じている。今後検討していきたいと考える。

		科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	大庭 夕穂	英語（英会話A）	出席率が安定して高いため。	・授業スピードについて、大多数が「丁度良い」と考えた一方、「早すぎる」あるいは「遅すぎる」と感じる学生も数名ずつ見られた。そこで授業が単調にならないよう、特に大事なポイントは重点的にゆっくり解説し、それ以外の箇所についてはテンポよく進めることで、授業にメリハリが出るように工夫した。 ・前半の授業で好評だった視聴覚資料は、後半の授業でも積極的に活用した。学生が重要箇所を見落とさないよう、かつ集中力を維持できるよう工夫した。 ・「質問しにくい雰囲気」という指摘があり、授業の途中で分からない箇所はないかこまめに確認を取るようにした。手を挙げて質問しづらい学生に対しては、教員が教室を回る機会を設けて、直接話しかけやすい空間づくりをした。 ・「授業中に当てないでほしい」という意見に関しては、学生の理解度や学習ペースを確認するための大事な方法だということを説明し、納得してもらった上で継続した。 ・「期末テスト前に全体の復習をしてほしい」という要望があり、直前の試験対策を通してポイントや復習方法を分かりやすく提示した。	シラバスの到達目標の一つは、日本語以外の言語や文化を背景に持つ子どもたちとコミュニケーションが取れるよう、英語の基礎を習得することであった。 アンケートの結果および学生の成績から見て、この点は概ね達成できたと考える。 また、他国の文化を理解し柔軟に受け入れようとする姿勢についても、ほとんど全ての学生が積極的に身に付けようと努力したことがうかがえる。 一方、実践的な言語運用能力に関しては、まだ不十分であると言える。学生が主体となって英語で発信する力を養うことが今後の課題である。そのために、後期は授業中に英語表現をアウトプットする機会を設け、学習内容と使う場面とが連動するような授業を展開していく。
保	安藤 準佑	保育原理	担当2クラスのうち、全体の出席率が高い方を選んだ。	講義を聞いているだけでは眠たくなるという意見や、穴埋め式の資料にしてほしいという意見を踏まえて、配布資料に記入枠を設け、また学生自身の考えや気づきをメモできるように資料作りを工夫した。 また、資料の字が小さいという意見を踏まえて、全体的に文字を大きく変更した。	保育制度や保育の歴史、現在の社会課題を学ぶ科目であるため、内容も難しく、且つ現在の社会問題について考える機会も多い内容だった。 その中で、さまざまな社会課題に対して自分なりの考えを持つ大切さと、責任感と共にやりがいのある楽しい職業であることは伝わったのではないかと。 一方で、グループワークやディスカッションなど、双方向の講義を取り入れるとより学生たちの学びに繋がったのではないかと。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	工藤 真由美	日本語表現法A	1年生卒業必修科目で2クラス開講のため、クラス間比較ができること。例年対象クラスに選定しており、経年比較ができること。	中間アンケートの要望として、空調の効きが弱い、強い要望が多く、6件。グループワークをやめてほしい1件。（グループワークが楽しいという意見が8件）漢字テストがないほうが良い1件。（漢字の実力がつくのが良いという意見10件）それぞれに対して、空調は北条事務室一括管理のため、まめに授業中に温度変更の依頼に行かねばならず、窓を開け閉めする対応を行った。グループワークや漢字テストはシラバスに記載通り行った。グループワークをする意味は学習内容の定着を図る目的であることを繰り返し説明した。	予習復習時間は、シラバスに30分から45分と示している。アンケート結果も、30分未満、30分から1時間未満が、86%であり、概ねシラバス通りの達成が見て取れる。到達目標は32%の学生がほとんど達成、かなり達成と回答している。学生のほうがやや厳しめの評価を下しているものの、概ね成績評価と一致している。今後はグループワークを増やしたいと思うので、グループワークの意義を理解するように説明やワークの進め方を一層工夫していきたい。
		日本語表現法B	1年生卒業必修科目で2クラス開講のため、クラス間比較ができること。例年対象クラスに選定しており、経年比較ができること。	中間アンケートの要望として、空調の効きが弱い、強い要望が多く、6件。グループワークをやめてほしい2件。（グループワークが楽しいという意見が7件）漢字テストがないほうが良い2件。（漢字の実力がつくのが良いという意見6件）それぞれに対して、空調は北条事務室一括管理のため、まめに授業中に温度変更の依頼に行かねばならず、窓を開け閉めする対応を行った。グループワークや漢字テストはシラバスに記載通り行った。グループワークをする意味は学習内容の定着を図る目的であることを繰り返し説明した。	予習復習時間は、シラバスに30分から45分と示している。アンケート結果も、30分未満、30分から1時間未満が、91%であり、概ねシラバス通りの達成が見て取れる。しかし、30分未満の学生が68%おり、まったく予習復習をしていない可能性は否定できない。毎回課している漢字テストの成績が振るわない学生が複数いることから予習復習については、チェック方法を検討する必要がある。学習の到達目標は41%の学生がほとんど達成、かなり達成と回答している一方で、あまり達成できなかった、ほとんど達成できなかったと回答した学生が59%おり、実際の成績評価と比べてやや厳しめの評価を下している。今後はグループワークを増やしたいと思うので、グループワークの意義を理解するように説明やワークの進め方を一層工夫していきたい。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	中川 玲子	食生活アドバイザー	この授業は「食生活アドバイザー検定試験 3級」の支援講座であるので、検定合格率を上げることが最終目的である。中間で学生の要望を取り入れることで検定試験に臨むモチベーションを上げるとともに、食生活全般への興味を高め、授業への満足度を上げたいと思い、授業評価アンケート対象に選んだ。	中間アンケートの改善要望については、全員が「なし」「特にありません」または記入がなかったので、アンケート実施までに行っていた「食生活アドバイザー 検定試験 3級 過去問題集 2023年度版」とテキストの解答・解説、および各章最後の小テストを継続して行った。さらにその流れで検定試験直前の「第49回 食生活アドバイザー 検定試験 3級 模擬問題」の解答・解説にもできる限り注力した。	中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組み、及び積極的な参加を促すための工夫は「やや」を含め全員が「見られた」「されていた」と答えた。予習、復習に当てた時間は、ほぼ半数の学生がシラバスの設定より長かった。この授業の到達目標に全員が「80%以上達成できた」と答えた。今回の検定試験の合格者数は4名で、昨年度より1名増えた。合格者の半数の2名が90点、80点と高得点だった。しかし合格率は昨年度75.0%から今年度66.6%と低下し、この点が今後の課題である。次年度は学生が自ら予習を積極的に行なえるよう工夫し、授業内では質疑応答やグループワークの機会を設け、遅れがちな学生のフォローにも注力していきたい。
		食の科学A	この授業は昨年度より、シラバスの授業計画において栄養素に関する部分を大きく変更した。これまでは5つの栄養素の基礎的な学びを5回連続して行い、次に生活習慣病との関連において応用へと展開したが、今は、1つの栄養素につき2回授業を行ない、基礎的な学びから応用へ、生活習慣病との関連についても解説し、実際の食生活における摂取上のポイントと注意すべきことへと連続して理解を促している。さらに関連する視聴覚教材を取り入れて、実際の食生活に身近なものとして学べるよう工夫した。2年目に当たる今年度前期の学生の評価を、今年度後期、さらに次年度に活かしたいと考え、授業評価アンケート対象に選んだ。	学生からの回答は、14名中2名のみであった。1名から「あるとしたら少し授業スピードを落として欲しい」とあったため、授業の進行途中に、遅れずノートがとれているか、解説内容が理解できたかなどを確認しながら進めるよう心がけた。（この学生の成績は100点満点となったので授業改善の取り組みが学生の要望に応えられたと言える）また、もう1名からは「スライドの1部が画面から切れること」とあり対応したが、これにより画面全体が少し小さくなり、見づらくなったのではないかと気になった。教室のプロジェクターが暗い点も気になったが、前期途中での教室変更はできなかった。（後期は清風学舎の教室であるのでこの点は改善できる）	中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みについては「やや」を含め93%の学生が「見られた」と答え、積極的な参加を促すための工夫については「やや」を含め全員が「されていた」と答えた。この授業の到達目標に、全員が「70%以上達成できた」、46%の学生が「80%以上到達できた」と答えた。成績から見ると、評定の「秀」と「優」（80点以上）の学生が合計9名（65%）であり、特に3名が100点満点、1名が92点と非常に高成績であった。しかし、1週間で1時間以上予習・復習および課題に当てた学生は16%に過ぎず、54%の学生が30分未満と答えた。今後はこの点を課題として取り組む。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	伊東 めぐみ	医療事務1	医療事務エリアで学ぶ全員の学生が履修する科目であり、医療事務の重要な知識・スキルである診療報酬の点数算定を学ぶ科目なので、学生のフィードバックを参照して、今後の授業に活かしていきたいと考えました。また、この科目は1クラスを2つのクラスに分けて行っていますが、履修者全体のフィードバックが受けられるように、両クラスともアンケート対象科目としました。	中間アンケートで、特に改善してほしいことは記載されていなかったのですが、授業のよい点を述べる箇所に、授業のスピードがちょうどよく分かりやすいという意見があり、授業の内容として理論の理解度が求められる内容のため、十分理解し習熟度を上げられるように、授業の進行を急ぎ過ぎず、現在のペースで行うように心掛けました。	学生の評価として、秀・優が約40%、良が約20%で、履修生の約60%が中～上の到達度という結果でした。しかし、学生自身の自己評価としての到達度は、かなり達成できた(80%～89%)以上を選んでいる学生は2割程度に留まっているので、学生自身は理解が十分でないと感じているようです。この科目を履修した学生は、後期の医療事務Ⅱへと進むことで、点数算定の基礎を一通り学べるようになっていきます。医療事務職として必要な知識である点数算定を学ぶ科目であるため、授業の進行スピードや使用するスライドのわかりやすさなど、更に到達度を上げられるよう工夫していきたいと思います。
		医療事務1	医療事務エリアで学ぶ全員の学生が履修する科目であり、医療事務の重要な知識・スキルである診療報酬の点数算定を学ぶ科目なので、学生のフィードバックを参照して、今後の授業に活かしていきたいと考えました。また、この科目は1クラスを2つのクラスに分けて行っていますが、履修者全体のフィードバックが受けられるように、両クラスともアンケート対象科目としました。	中間アンケートで、特に改善してほしいこととして、授業の進行スピード早いという意見が、複数の学生からありました。もう一つのクラスでは授業のスピードはちょうどよいという意見でしたが、受ける学生によって感じ方に差があるということがわかりました。授業の内容として理論の理解度が求められる内容のため、授業の進行を急ぎ過ぎないように心掛けました。ただ、授業ごとに進む範囲が決まっているので、大幅に遅らせることはできないため、ポイントを押さえた講義になるようにして、授業の進度とスピードのバランスを取るように考えました。	学生の評価として、秀・優が約50%、良が約40%で、履修生の約90%が中～上の到達度という結果でした。到達度の目標としてはほぼ達成している結果でした。ただ、学生自身の自己評価としての到達度は、もう少し低い結果が出ていましたので、学生自身はまだ理解できていない部分があると考えているようです。授業の進行スピードに留意するなど、更に到達度を上げられるよう工夫していきたいと思います。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	安谷 元伸	卒業ゼミ（発展） （安谷ゼミ）	今年度より、ソーシャルネットワークサービス等を利用した新たな活動内容に取り組んでいるため。	昼間アンケートで「課題提出等の時間が少なく感じます」との要望が寄せられたことから、授業時間内において作業時間の確保に努めた。	問1「中間アンケート～取り組みは見られましたか」では82%（9名）がそう思う、18%（2名）がややそう思うと回答しており、中間アンケート以降に取り組んだ作業時間の確保等の授業改善は概ね学生に評価されたものと考えられる。一方、ゼミレポートの作成とゼミ制作の両方を行う後半の内容に対しては作業時間がタイトとなってしまったためか、問4「この授業のシラバス～できたと思いますか」には、27%（3名）が少し達成できた、9%（1名）があまり達成できなかったとの回答も見られており、作業時間の十分な確保が次年度以降も課題として明確化した。この点の改善にさらに取り組んでいきたい。
		ウェブデザインⅡ	現在受け持っているウェブデザインⅠの発展的内容の授業として、今年度より新たに受け持つことになったため。	中間アンケートには要望の記載はなかったものの、授業中に提示する資料が少し見辛いとの声があったことから、提示資料の視認性向上に努めた。	問1「中間アンケート～取り組みは見られましたか」では83%（5名）がそう思う、17%（1名）がややそう思うと回答しており、また、問2「この授業は積極的な参加を促すための工夫～」でも同様の回答率が確認された。そのため、中間アンケート以降に進めたパワーポイント資料の視認性を上げる等の取り組みが一定の成果を得たものとする。しかし、HTML、CSS、JavaScriptと3つの記述が必要となる内容からか、問4「この授業のシラバス～できたと思いますか」では、かなり達成できた67%（4名）、少し達成できた33%（2名）で「ほとんど達成できた」と回答した学生がいなかった。このような結果から、今後は授業内容の難解性を解消する取り組みを進めていきたい。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	河合 真知	キャリアデザイン い	本科目をアンケート対象科目に選んだ理由は、ライフデザイン総合学科のベーシックフィールド・キャリアエリアの必修科目であり、1年生全員が前期に履修するからである。1年生の必修科目であれば、本学において入学間もない学生の意見をいち早く収集することができる。本科目への活用に留まらず、他の科目及び後期や2年次にも、より良い授業設計に活かせるからである。 また、キャリアデザインは、同日の1限目と2限目の2クラスで実施しているが、アンケートは2限目クラスで実施した。理由は、1限目は、朝の電車の遅延等で遅れて入ってくる学生も多くいるため、出席状況が安定している2限目の授業を選んだ。	中間アンケートで、DVDやマイクの音声について、改善希望の声があった。施設担当の方にも確認をお願いし、DVD音声により鮮明に聞こえるパソコン設定で、DVDを視聴するように変更した。また、マイクの使用に関しては、アンケート後、学生とも相談し、マイクなしでも聞こえるとの意見であったため、教員の講義に関しては使用せず、学生が順に発表するときのみ使用するようにした。	アンケートによる学生の認識は、「達成できた」の合計が55%であった。一方、成績はS・Aあわせて70%を上回った。学生認識の結果は、シラバスの目標である自らのキャリアや進路の方向性がまだまだ決定できないでいることが伺える。しかし、自分のキャリアに対し、主体的に真摯に向き合い、問題意識を持ち、深く考えることはできたと判断される学生が多いため、評価は高い結果となったといえる。 今期は、自己理解を促すワークやアセスメントシートを新たに導入し、授業進行を大きく変更した。その結果、「積極的な参加を促すための工夫がされていたか」について、「そう思う」の合計が100%となったことは、授業進行改善が有効であったと考える。
		ビジネス実務演習	本科目を授業評価アンケートの対象科目とした理由は、ライフデザイン総合学科のアドバンスフィールド・ビジネスエリアにおいて、1,2年生が自由に履修できる選択科目であるが、エリア内の位置づけとしては、第一ステップの演習科目だからである。本科目に引き続き、他のビジネスエリアの選択科目、特に後期の「ビジネス総合演習」を続けて履修する学生も多いことから、同科目にも継続して結果を反映させていきたいと考える。	中間アンケートで、PPTが見にくい時があるとのコメントがあったので、これまでのシートを分割して表示するなどして文字を大きくした。結果、最終アンケートでは、中間アンケートの意見に対する取り組みに関して、100%取り組みが見られたと回答している。	この授業は、知識獲得を必要とするため、授業内だけでは学習時間が十分ではなく、宿題となる問題に丁寧に時間をかけて取り組まないと目標達成できない。学生の到達目標達成の認識と、予習復習にあてた時間とがほぼ比例しているのもその結果であると推察する。 また、評価に関しても、Sが約40%であり、2時間以上、1から2時間の予習・復習をした学生の割合と同数である。いかに宿題に取り組ませるかが、今後の課題といえる。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	赤田 太郎	人間関係論	ディスカッション形式で進む講義のため	特に要望が出るよりも、いろいろな考えがわかるのでこの形式が良いということだった。	学びは進んだものの、シラバスのテーマが社会人向けのため、理解できても実践するためには、大学生の生活に合った工夫がもう1段必要だと感じている。
		臨床心理学	資格対策講座のため	前回の講義の反省を受けて板書での講義を行ったが、中間アンケートからは黒板を使って分かりやすいということだった。	この講義の課題として、ついてこれる人とそうでない人の差が大きい。 病院実習のために義務的に受講するためだと思われるが、一方で資格の合格までの基準にまで学習レベルを持ちあげないとならないため、そのバランスをいかに取るかが、今後の課題である。
ラ	久保 覚司	医療事務総論	講義科目であり、話し方等が一方的になっていないか気になっていたため	講義中に自分が早口になってしまう事を気にしていたが、それよりもスライドを送るスピードが早いという意見が多かった。 そのため、1枚あたりのスライド時間を多めに取るように工夫した。 （説明方法を少し言い換えて再度説明する、重要な箇所はもっとゆっくり話す等）	到達目標については概ね達成できた。 ただし、中間アンケート結果の改善として、1枚あたりのスライド時間が増加したため、あまり重要ではないと考えている箇所を削減する等、影響のない範囲でシラバス内容を変更することになった。 次年度以降は、今年度の進捗を参考にして、ゆったりめで作成したいと思う。 また、指摘としては少なかったが、早口になってしまう件も改善するように努めたい。
ラ	吉井 珠代	解剖生理学	1) 授業の狙い（生命の神秘を知りそれを大切にすることの重要性と、心身のメカニズムを理解して健康の維持増進に努めることの重要性を伝える）が達成できたかどうかを把握するため。 2) 私の授業での説明が、学生が理解できるレベルであったかどうかを知るため。	問1の設問に関して、88%の学生から「概ね満足」との回答があったのは、中間アンケートにて視聴覚教材の見え方についての学生からの意見を参考に、画面を拡大したり、映写時間を延長して、授業の内容をわかりやすく丁寧に説明することを心掛けたためと考える。	今年度の受講生の授業態度は例年に比べ良好であったが、期末テストの成績や途中で回収した課題レポートの完成度はさほど芳しくなく反省するところである。 次年度以降は、伝えるべきポイントをよりコンパクトに絞り込んで、リアクションペーパーなどで確認しながら実施していきたいと考える。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	伏木 真理子	英語 (英会話A) い	必修科目のため	・進むスピードが遅い、もっと問題をどんどん解きたいという声があったので、問題に取り組む時間を短くし取り組む量を多くした。・英文の和訳を知りたいということなので、授業後ユニパに掲載するようにした（授業時に書き取る時間をとると書くのが遅いので、問題に取り組む時間が減ってしまうため）・PowerPointの字が小さくて見にくいということなので、大きくした。	・中間アンケートの学生の意見・要望に対して改善が見られたという回答は、そう思うとややそう思うを合わせて77%だった。・シラバスの目標達成については、ほとんど達成できた8%、かなり達成できた19%、少し達成できた54%で、合わせて81%だった。学生が感じた達成度と成績分布は比例している。・出版社が提供するCheckLinkというスマホで解答し、正答もスマホに掲載されるシステムが好評だったので、今後も活用しようと思う。
		英語（英会話A）ろ	必修科目のため。	テキスト本文等の和訳がほしいとの声があったので、ユニパにて配信するようにした。	学生の授業評価アンケートの結果は、達成できた74%、達成できなかった26%だった。 学生の成績は、良が40%だった。（習熟度別クラス編成の影響有り。）しかし学生アンケートでほとんど達成できなかったは0%だったので、個人差はあれど何らかを得られたと思う。 基本的な英文法の理解促進、日常生活やビジネス分野の語彙習得はできたと思う。 今回はノートチェックを実施し音読筆写の進捗状況を確認したので、音読筆写の習慣はついたと思う。 英語を話す時の声があまりに小さいので、しっかり声を出せるようにする工夫を検討したい。
ラ	黒田 恭史	文書処理演習Ⅱ（Word）	2回生開講で、パソコン操作の苦手な学生が多いと考えたため。	一人一人の進度に応じて、学習支援した。	まずまずであったが、欠席の多い学生への対応が課題である。
ラ	岡本 久仁子	表計算演習Ⅱ（Excel）	授業人数が多く、欠席も少なかったため。	中間アンケートでは、肯定的な意見が多く、唯一学生からの不満はGoogle Classroomからのファイルダウンロードに関するものだった。 （ファイルをダウンロードするのに時間がかかる⇒早めにダウンロードできるよう予約設定時間を工夫した） 今まで通り、学生それぞれの進度に合わせてフォローしていった。	エクセルテストの結果は平均点も良く、成績に反映することができ、目標を達成できた。 ただ、一部欠席しがちな学生は内容の理解が及ばず、達成できなかった。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	鶴田 美香	色彩とファッション演出	新規開設授業において振り返る。 SNSやデジタル機器にたいする知識の格差を授業でどのように補うかが課題。また使用する機器の種類を限定するべきだと思いました。	一人一人声をかけ、楽しんで取り組めるようにした。	より具体的で特別な加工や知識の習得を目指していきます。
		ファッションブランディング	去年は1年生だけのクラスだったため、人数的な負荷がなくよい状態を維持できた。 今年からは2年生も参加し、行いたかった授業内容を妥協することがあったため、次年度に課題をのこした。	自分のファッションタイプをより深めたいようでしたので、パワーポイントを用い目でみてわかる授業とした。	センスに頼ることなく、ファッションのルールに基づいて自分を分析する機会が設けられた。 全体の指導にばらつきができないよう次年度も力を尽くしたい。
ラ	倉津 三夜子	アロマセラピー（演習含む）	担当科目はこの科目のみであったため。	中間アンケートの結果から、今期の学生が実習を楽しんでいることに合わせ 座学にも関心を持っていることが伝わってきた。 例年は座学について”話しが長い”といった回答が複数見受けられるため 座学は必要最小限に留め、実習の時間にゆとりを持たせるようにしていた。 けれど、今期の中間アンケート後は、学生が関心を持つような内容を座学に盛り込むようにした。 関心が深まることで、学生が実習に積極的に取り組むようになった。	アンケートの結果から、学生自身も達成感があったように見受けられた。 また、成績から見ても、レポート試験での実習の記録には アロマセラピーの安全性や危険性を十分に理解して取り組んでいたことが反映されている。
ラ	森石 加世子	家族心理学	受講者数が、他の科目に比べて多いので、様々な意見を取り入れることができると考えたためです。	漢字を含め、ノートやレポートの筆記に時間を要する学生が多いことが結果から分かったため、その時間を増やすよう改善したり、漢字をひらがな筆記でも可能にしました。	授業を熱心に受け、授業中の反応からも理解が伺えた学生については、成績も良好でした。一方、演習授業には、積極的に参加ができていたものの、講義については、授業中の反応が薄かった学生については、成績も取れていなかったです。学生達の理解の差が大きい場合、個々の理解度に合わせた授業を行うことが今後の課題と考えます。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	寺石 佳世	健康・栄養クッキング	前期に担当するのがこの授業だけなので	できるだけ、調理前の説明時に、手順や使用する調理器具について詳しく解説するようにしました。 学生さんが、「15回授業を受けたかった」というコメントを記入されていました。 今年度からシラバスの内容を変更し、離乳食や高齢者の向けの食事などを加えた分、普通の成人期向けの調理が減ったので、このような意見が出てきたと思われます。 来年度、ご検討いただけましたら幸いです。 よろしくお願いいたします。	10回の授業でしたので、アンケートを実施しませんでした… 申し訳ありません。
ラ	数藤 晶子	テーブルコーディネート&テーブルマナー	中間アンケートを実施したため。	アンケート結果に、実習がありわかりやすい、日々の生活に役立つという回答があったので、より実習内容を充実させるように心がけた。	授業に熱心に取り組む学生と取り組めない学生の差が激しく、評価が成績に顕著に出ている。授業の最終段階で、学生にこの授業を履修して、今後どのように活用したいか確認する機会があったが、テーブルコーディネートやマナーなどを実生活で活かしたいとの回答が多かったので、ある程度の目標達成にはなったのではないと思う。
ラ	兵頭 真由美	ビジネス実務総論	昨年とは違う科目を選びました。	中間アンケートでは、「とても分かりやすい」、「小テスト直前の復習時間ありがたい」、「ビジネス単語の意味をしっかりと説明してくれる」、「授業の改善点は特にない」など 好評でしたが、さらに学びを深めてもらうよう、小テストや課題での学生さんそれぞれの苦手なところを確認し、細かくアドバイスしながら授業を進めました。	アンケーと最終評価によりシラバスの到達目標も達成できたと考えます。 今年度は少人数のクラスで、これまで以上に個別の対応が進めやすかったですが、今後のクラスでも理解を深めてもらえるよう、課題、小テスト、授業の進め方など工夫してまいります。
ラ	佐々木 研	ファッションビジネス概論☑	担当2科目のうちの1つ。	座学中心ではなく、ワークを多く取り入れるなどできるだけ立体的な授業を実施。	概ね到達目標はクリアしているが、出席率低学生についてはやや未達成。
		ファッションビジネス演習	担当2科目のうちの1つ。	座学中心ではなく、ワークを多く取り入れるなどできるだけ立体的な授業を実施。	概ね到達目標はクリアしている。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	山岡 正弘	カフェプランニング	年々、受講生の関心度が高まっているので進め方の見直しを必要と感じたから。	実習についての個々の完成度を高めるために個別指導を心掛ける。	毎回、学生のモチベーションの向上が見られている。今後、個々の実習映像を撮り、見直し時間を設定すると良いと感じる。
ラ	藤堂 隆司	診療情報管理論B（医療法規含む）	担当がこの科目のみのため	中間アンケートの意見・要望では、字が小さい・記載箇所が多いという回答が数名いたので、改善に努めた。問1. 中間アンケートの意見・要望の取り組みは見られたか。そう思う：29%、ややそう思う：71%	成績の結果 平均84点・再試験者：0名 問2. 積極的な参加を促す工夫について そう思う：57%、ややそう思う：43% 毎回、授業の最後に振り返り試験を実施したこと 問3. 予習・復習時間について 全員が1時間未満と回答したことで次年度の課題としたい。問4. シラバスに示された到達目標の達成度について ほとんど達成できた：57%、かなり達成できた：43% 授業の進め方で心掛けたこと：①できる限りわかりやすく説明した ②授業評価アンケートとは別に、毎回、授業に対する質問、意見・要望を求めたこと ③医療現場から最新の情報を入手することで、タイムリーに授業で提供したこと 授業評価アンケートについて、14回目、15回目2週解答時間を設けたが、回答者数が少なかったことは残念であった。（ちなみに中間アンケートはほぼ回答はあった）
ラ	馬場 住子	保育・教育課程論	授業への参加(出席など)率が高く、授業評価アンケートへの協力(回答率)がよりよく得られると思ったから。	授業のパワーポイントを印刷したものを配ってほしい、パワーポイントにページ数を入れてほしいという要望に応えた。 休憩時間は取らないでよい、途中の手遊び(保育実践に使える遊びの紹介)などの演習はいらない、電気を落としてほしいなどといった意見(自由記述)があったため、意見に従った。	本来は予習復習の時間を増やしてほしいと思うが、他の授業や色々忙しいとの声が聞かれたこともあり、学生の負担になるような課題はできるだけ出さないように心掛けた。そのため、学習時間は少ない結果が見られたことは課題として受け止めている。また、目標達成の意識についてはどのくらいを目指すか。その難易度は難しいと感じている。今後検討していきたいと考える。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	松谷 治代	ブレッド&テーブル演習	受け持ちはこの科目のみのため	特に早急な改善を要する内容はなく、中間アンケート前と同様に取り組みました	授業が5月30日で終了したため、最終アンケートは行っておりません。 全般的に、学生は真面目に積極的に授業に取り組んでくれており、シラバスの到達目標のほぼ達成できているように見られます。 (報告書作成時点で、1名の学生からノートが未提出のため)
ラ	黒川 圭子	スポーツⅠ	学生が学年間を超え、成長が見られた授業であったと感じられたため、選択をした。	アンケートには、具体的な意見の記述はなかったので、授業態度や交わした会話を参考にしていた。 熱中症の予防対策として、下記を実施した。 ・教場の30分前に、小窓、扉の開放や扇風機による換気と風通しの実施。 ・教場の変更による暑さ回避 ・授業時間の短縮	2回生の少タルズな態度に、1回生の戸惑う様子や、授業実施のスポーツが、クラブ活動として経験済みの学生から初心者までと能力に差が明確であった授業開始当初から振り返ると、スポーツを通して 2学年間での気遣いや思いやりの様子や、コミュニケーションの広がり、身体を動かすことやスポーツを楽しむ姿が見られたことは何より喜ばしかった。 基本ルールの理解度は、個人差はあったが、ゲーム中など、学生同士で教え合う様子も見られた。 勝敗に対して本気で悔しがる姿も自然に増えていた。 「勝敗だけにとらわれず、積極的に運動・スポーツを楽しむながらコミュニケーション力や協調性を養う」点においては、達成できたと考える。 今後の課題 ・暑さ対策による教場変更での実施内容の工夫について
ラ	柳 慎之介	hiphopⅢ	アンケートを実施したため。	一人ひとりのアドバイスをもっと細かく伝えた。	少し休みが多く感じるので興味をもってもらえるよう伝え方を工夫する。
		hiphopⅠ	アンケートを実施したため。	一人ひとりのアドバイスをもっと細かく伝えた。	少し休みが多く感じるので興味をもってもらえるよう伝え方を工夫する。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	能美 智子	医療事務III（DPC含む）	1教科しか担当していないため。	毎回の小テストは多いとの意見でしたが、やめるのは学力に影響するため2回ほど課題提出に変更しました。	今年度の学生の成績は、到達目標より低めだったと思います。全体に理解度が低かったこともあり、繰り返し問題を解いて知識の定着を図りました。その分カルテの演習問題に取り組む時間が少なかったと思いますので、今後は自宅での復習時間を確保できるような課題を作成したいと思います。
ラ	瀬口 昌生	プレゼンテーション概論	この授業のみの担当であるため。	改善点が挙がっていなかったため、引き続き良い環境下での授業運営に努めた。	個人に対するアドバイスがもう少し適えば、より習熟が適ったかと考える。 特に1年生にとっては、プレゼンテーションの数をこなすことで「慣れ」ていくため、次回はその点にも留意して授業を構成していきたい。
ラ	入野 遥	バレエ	より良い授業にするため	学生たちの体調、体力を考え、水分補給の時間を調節した。	学生たちは授業態度も意欲も、大変良かったと思う。この調子で後期も頑張ってもらいたい。
		JAZZ	より良い授業にするため	学生たちの体調、体力を考え、水分補給の時間を調節した。	学生たちは授業態度も意欲も、大変良かったと思う。この調子で後期も頑張ってもらいたい。
ラ	杉本 篤史	簿記入門	授業がこのクラスのみのため	ペースが速くなることがあるので理解できているかの確認をしながら授業を進めるようにした。	よくできる学生が多く確認テストの点数が想定より高かった。精算表の作成については、多くの生徒ができるようになった。 シラバスの達成目標については、ほぼ達成できたと思う。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	堂東 由佳	色彩の演習（シルクスクリーン含む）		・油性のインクの臭い対策。 →今年度はほぼ水性インクで授業を行った。 ・待ち時間の対策 →制作の各工程をスムーズに行えるよう、学生それぞれの制作スケジュールを随時アナウンスし、記録させるようにした。	シラバスの到達目標には概ね到達したと思われます。シルクスクリーンの技術を修得し、技術の修得を通して、丁寧に作業することや工夫することを学べたのでは、と考えます。 また、作品やオリジナルのグッズ、雑貨制作を通して、学生が自分の生活を豊かにする選択肢が増えていたら嬉しいです。昨年度よりも「オリジナル」ということに注目し、アイデア出しや構想の時間を多く取ることができました。 今後の課題は、さらに積極的な授業参加を促すため、シルクスクリーン以外の技法を取り入れたり、1講座完結（1回の授業で1つ作品を完成させる）の授業内容にできるようにシラバスの改編を行う。また、学外学習や、作品・オリジナル雑貨の展示を行う。
ラ	西村 恭子	くらしのマナー	担当していた科目が本科目のみであったため	本科目では学生たちにとってこれまでなじみのないビジネスマナーを中心に扱っていたため、事例を多く盛り込み、理解しやすい表現を用いて説明するように努めた。テキスト以外に書き込み式の補助プリントを併用し、スライドにはテキストの該当ページ数を記載するなど、授業の進行をスムーズに行える工夫を凝らした。 また、毎回の授業で小テストを行い、知識の定着を図った。これらの取り組みに対して、学生からは知識が頭に入りやすく、マナーに対して理解を深められたとの好意的な声が上がられたため、引き続き授業の進め方の方針は変更せずに最後まで行った。毎回の小テストについては本人に採点を行わせ回収していたが、訂正して採点している学生がいるとの声があげられた。自身で採点する趣旨を再度説明し、採点時の見回りを強化することで対応した。	評価アンケートの結果と成績を照合すると、学生自身の到達目標の達成度の自己評価と実際の成績との割合はおおむね近い結果となった。一方で学生個人のレディネスの差が授業への取り組み姿勢に影響しているように感じる。今後はレディネスに差があってもお互いに学びあえるような授業を設計していきたい。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	田尻 良	情報システム論	他に選択肢がなかった	中間アンケートで改善を要求する解答が一件もなかったため、特にアンケートをベースにした改善・工夫は行っていないが、前半の生徒の様子を見ながら、独自の改善・工夫は加えている。	そもそも過半の学生が「単位が取ればいいという気持ちで受講した」と、授業内の講師との会話で発言しているような状況下で、シラバスを完全達成すること自体に無理があることは自明である。 だが、たとえそのような態度で臨んだ学生であっても、「これだけ分かっただけの方がいいぞ」という前振りで話すときは、ちゃんと聞こうとしてくれる。 そういう「分かっただけの方がいい話」を上手く組み合わせ、少しでもシラバスの達成に近づけていくのが今後の課題である。
ラ	山田 久美子	調剤請求	調剤請求1科だけの担当のため	中間アンケートでは特に要望はなかった。 「課題や提出物を丁寧に直してくれる」「前に提出物を書いてくれる」などの良い意見をいただいたので、引き続き、提出物には正解だけでなく計算方法や、解説プリントを添付し返却した。 また、提出物と提出期限、持ち物などはその都度前に書き説明をした。	調剤報酬のしくみや算定の基本はだいたい理解できているように思う。 今年度は演習の時間を増やし、レセプト作成や、問題を解く時間を少し多くしたが、応用問題まではあまりできなかった。時間の工夫をして少し難しい問題も解けるようにしなければならない。 調剤事務管理士技能認定試験の申し込みが今年度も少なく、また、申し込んだ学生は、試験対策への取り組みが非常に遅いように感じた。 授業内だけの学習では合格は難しいため、個々の積極的な学習が必要であるが、質問も少なかった。 こちらからももっと積極的に声掛けをし、認定試験の受験者、合格者を増やすことが今後の課題であると思う。